

平成19年度 兵庫県大学図書館協議会研究会

- 目録業務の将来と大学図書館 -

本年度の研究会は、図書館を取り巻く環境変化が激しい中で、目録業務の現状を踏まえた上で、その課題や将来像を考える機会としたいと思います。目録業務については、すでに多くの図書館でさまざまな方式のアウトソーシングが導入されており、それに伴うさまざまな課題や問題点が山積しているものと考えられます。それらの課題解決の糸口を見つけるために、今回の研究会では国立情報学研究所が考える目録業務の将来構想等について講演していただくとともに、加盟館から目録業務の現状と課題について事例報告を受けて議論を深めていきたいと思ひます。

日 時 平成19年12月7日(金) 13:00～16:00

会 場 関西学院大学図書館(西宮上ヶ原キャンパス)図書館ホール

受 付 12:30～13:00

開 会 13:00～13:10

司 会 関西学院大学図書館事務部長 中村 順治
挨拶 関西学院大学図書館長 杉原 左右一

講 演 13:10～14:20

演題「NACSIS-CATの現状、課題、将来」
講師 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課
図書館連携チーム 係長 平田 義郎 氏

事例報告(1) 14:20～14:45

報告「目録業務の初期研修プログラム ～5日間で基本を身に付ける～」
発表者 公立大学法人神戸市外国語大学学術情報センター
学術情報係 柿本 匡晶 氏

休 憩 14:45～15:10

事例報告(2) 15:10～15:35

報告「目録業務の現状と課題-神戸常盤短大における-」
発表者 神戸常盤短期大学図書館
主任司書 石川 明子 氏

事例報告(3) 15:35～16:00

報告「今後の目録担当者のあるべき姿」
発表者 関西学院大学図書館
運営課主任 澤村 裕 氏

閉 会 16:00

(閉会后、関西学院大学図書館の自由見学が可能です)